

## 入選

### 勇気を出して

福岡県 泉小学校

五年 堤 陽向

私は、鉄ぼうが好き。最近は、「天国まわり」という技が得意だ。

でも、小さいころは鉄ぼうが下手だった。最初は、友だちがやり方を教えてくれた。そしたら、「ダイヤモンド」というむずかしい技ができるようになり、鉄ぼうの楽しさがわかって、それから好きになった。だから、私も上手にできなくて困っている人がいたら、助けてあげたい。

ある日の昼休みのことだった。一年生の小さな女の子が、一人でさか上がりをしようとしていた。何度やっても、足が上がらなくてうまくいかない。

私は気になって、

「手伝ってあげない？」

と友だちに言った。でも、友だちは、

「私も声をかけたいけど、何度かやっているうちに一人でできるようになるかもしれないし、声かけなくてもいいよ。ドキドキするし。」

と言った。私もドキドキするし、はずかしいから、そうすることにした。でも、その子はなかなかできるようにはならない。

休み時間が終わって、教室に帰ってから、あの一年生の子のことが気になってしかたがなかった。(勇気を出して、声をかければよかったかなあ……)と後かいした。そして、明日は声をかけようと思決した。

つぎの日。また、友だちと鉄ぼうのところに行ったら、その子もまた来ていた。でも、さか上がりがまだできていなかったなので、今度は手伝ってあげようと思った。でも、話したことのない子なので、声をかけるのにとってもドキドキした。

勇気を出して、

「手伝ってあげようか？」

と声をかけた。その子は、びっくりしながらもうなずいてくれたので、手伝ってあげることにした。

すると、さか上がりができた。その子は、とてもうれしそうに、

「ありがとう。」

と笑顔で、少しはずかしそうに言ってくれた。私も、友だちも笑顔になった。「ありがとう」のひとことがとてもうれしかった。

その日から、休み時間にさか上がりをするのを手伝ってあげていると、その子は手伝わなくても、自分でできるようになった。私はその子と友だちになった。

「ありがとう。」

そのひとことで心が温かくなる。知らない人に声をかけるのは、とても勇気がいることだ。

「小さな親切」で、よろこんでもらえるなら、困っている人を助けようと思った。そして、ささいなことでも、自分がなにかしてもらったら、「ありがとう」ということをわすれないようにしようと思う。